



# ビジネスパーソンが押さえておきたい 基礎から学ぶ『決算書』の読み方

※ご参加者は電卓をご持参下さい。

～ 基本3表の読み方から、目的に応じた「決算書」の読み方、  
会社の分析手法まで、基礎から平易に解説 ～

主催：(株)企業研究会 / 協力：TAC様

※講師とご同業の方のご参加はお断りする場合がございます。  
※最少催行人数に満たない場合、開催中止とさせて頂く場合がございます。

## 《開催要領》

日時▶ 2016年 7月 5日(火) 13:00～17:00  
会場▶ 東京 / 企業研究会セミナールーム(東京: 麹町)  
名古屋 / TAC名古屋校(名古屋: 名鉄バスターミナルビル9F)  
大阪 / TAC梅田校(大阪: 梅田センタービル5F)

## 《オンラインLIVEセミナーとは》

当セミナーは、講師が来場する東京会場をメイン会場として、その模様を名古屋会場・大阪会場に中継致します(名古屋会場・大阪会場への講師の来場はありません)。中継については、TV制作会社である(株)東通が担当し、双方向コミュニケーションにより、名古屋会場・大阪会場からの質疑応答も可能です。

講師 宮田公認会計士事務所 公認会計士 宮田敏夫 氏



講師紹介  
平成8年法政大学経営学部経営学科卒業。平成9年公認会計士2次試験に合格後、監査法人トーマツに入所。国内法定監査(証券取引法、商法)、大手企業のニューヨーク上場プロジェクト、大手金融機関のUS-SOX・J-SOXに関する業務等に従事。平成20年監査法人トーマツを退職、宮田公認会計士事務所設立(現職)。また、平成20年9月～平成22年5月には、税理士法人及びコンサルティングファームに所属し、弁護士と提携しながら株価算定・財務DD業務等のM&Aに関する業務を担当した経験を有する。

《申込書送付先》 FAX▶ 03-5215-0951 ※当会 HP からもお申し込み頂けます。 企業研究会Q 検索

■受講料: 1名( 税込・資料代含 ) ※申込書をFAXでご送信いただく際は、FAX番号をお間違えないようご注意ください。

東京	正会員	34,560円(本体価格 32,000円)	一般	37,800円(本体価格 35,000円)
名古屋・大阪	正会員	32,400円(本体価格 30,000円)	一般	35,640円(本体価格 33,000円)

希望会場に「✓」をご記入下さい。		<input type="checkbox"/> 東京 (講師来場) 161003-0101	<input type="checkbox"/> 名古屋 161128-0101	<input type="checkbox"/> 大阪 161129-0101
ふりがな	会社名			
住所	〒			
TEL	FAX			
ふりがな	所 属		職	
E-mail				

※申込書にご記入頂いた個人情報は、本研究会に関する確認・連絡および当会主催事業のご案内をお送りする際に利用させていただきます。

■参加要領: 申込書はFAX、または下記担当者宛E-mailにてお送り下さい。当会ホームページからもお申し込み頂けます。後日(開催日1週間～10日前までに)受講票・請求書をお送り致します。

※よくあるご質問(FAQ)は当会HPにてご確認ください。([TOP]→[公開セミナー]→[よくあるご質問])  
※お申し込み後のキャンセルはお受け致しかねますので、ご都合が悪くなった場合、代理出席をお願いします。

■お申込・お問合わせ先: 企業研究会 公開セミナー事業グループ 担当/川守田 E-mail: kawamorita@bri.or.jp  
TEL: 03-5215-3514 FAX: 03-5215-0951 〒102-0083 東京都千代田区麹町5-7-2 麹町M-SQUARE 2F

## .....プログラム.....

1. 決算書を見てみよう
  - (1) 基本3表(貸借対照表、損益計算書、キャッシュ・フロー計算書)とは?
  - (2) 基本3表と注記の関係
2. 基本3表の見方
  - (1) 損益計算書
    - 1) 損益計算書の基本的な仕組み
    - 2) 5つの利益概念と企業経営
    - 3) 損益計算書を見るポイント
    - 4) 損益計算書の分析方法
  - (2) 貸借対照表
    - 1) 貸借対照表の基本的な仕組み
    - 2) 資産・負債・純資産と企業経営
    - 3) 貸借対照表を見るポイント
    - 4) 貸借対照表の分析方法
  - (3) キャッシュ・フロー計算書
    - 1) キャッシュ・フロー計算書の基本的な仕組み
    - 2) 営業・投資・財務と企業経営
    - 3) キャッシュ・フロー計算書を見るポイント
  - (4) 問題演習
3. 決算書の「比較」により見えるもの
  - (1) 前期と当期の比較
  - (2) 単体と連結の比較
  - (3) 同業他社と当社の比較
  - (4) 他業種との比較
  - (5) 決算書「以外」からの情報と、決算書の比較
4. 決算書の読み方 応用
  - (1) 様々な決算書の読み方
    - 1) 中小企業と大企業の決算書
    - 2) 日本基準と国際会計基準
    - 3) 決算書を読む「視点」
  - (2) 事例演習
    - 1) 決算書の問題を発見する事例演習

※ご参加者は電卓をご持参下さい。(演習問題の際に使用します。)  
※最少催行人数に満たない場合には、開催中止となる場合がございます。

※セミナー中、映像及び音声のトラブルがあった場合、下記の通りご対応をさせていただきますので、ご了承の上、お申し込みを頂けますようお願い申し上げます。

■映像など切断了した場合、再接続してから講義を再開致します。

■接続が回復できない場合、もしくは音声が届かなくなるなど配信品質が著しく低下した場合、受講料を返金させていただきます。

裏面もご覧下さい! 一枚のパンフレットで  
2種類のセミナーをご案内しております。